

日本物理学会 第80回年次大会(2025年)

領域 5

インフォーマルミーティング

2025年9月16日 17:30~

SK205

内 容

議事次第

審議

1. 運営委員の紹介(次期委員と次次期委員候補)

2. 領域活性化について(講演数の推移)

審議

3. 【提案】学生優秀発表賞の審査員選定方針について(領域代表)

4. ご案内(領域代表)

確認事項 1-1

今期代表・副代表・運営委員

代表	2025年4月～2026年3月	渡邊 紳一 (慶應義塾大学)
副代表	2025年4月～2026年3月	芦田 昌明 (大阪大学)
運営委員	2024年10月～2025年9月	高三 和晃 (東京大学) 山崎 裕一 (NIMS) 余越 伸彦 (大阪公立大学)
	2025年4月～2026年3月	草場 哲 (東京都立大) 藤澤 唯太 (広島大放射光) 吉岡 克将 (NTT 物性基礎研)

渡邊代表



芦田副代表



高三



山崎



余越



草場



藤澤



吉岡



確認事項 1-1

今期代表・副代表・運営委員

代表	2025年4月～2026年3月	渡邊 紳一 (慶應義塾大学)
副代表	2025年4月～2026年3月	芦田 昌明 (大阪大学)
運営委員	2025年4月～2026年3月	草場 哲 (東京都立大) 藤澤 唯太 (広島大放射光) 吉岡 克将 (NTT 物性基礎研)
	2025年10月～2026年9月	石井 祐太 (NIMS) 北村 想太 (東大物工) 松田 拓也 (阪大基礎工)



審議 1-1

次々期の運営委員の推薦

任期: 2026年4月～2027年3月

運営委員 (本人内諾済):

大坪 嘉之
(QST)



栗原 貴之
(東京大)



玉谷 知裕
(東京大)



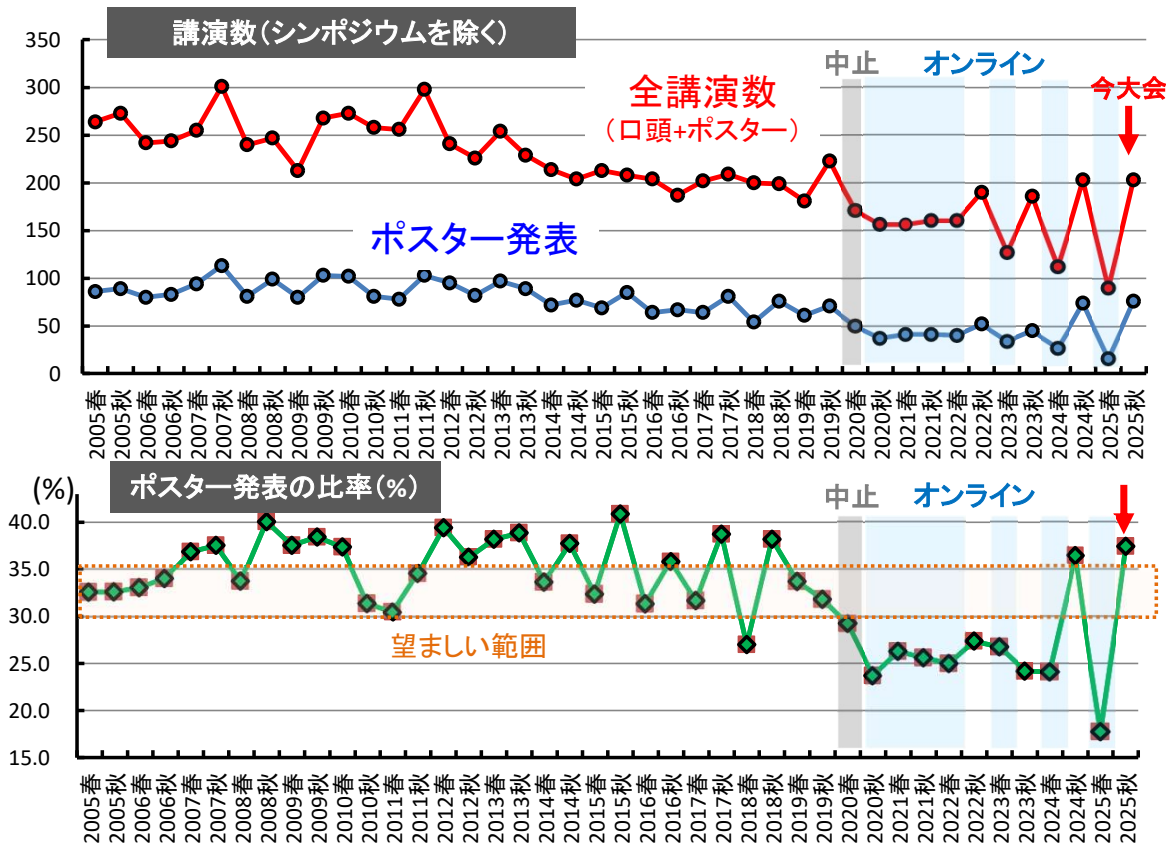
領域活性化について: 本年次大会のセッション

日本物理学会 第80回年次大会(2025年) 領域5

領域	セッション名	日本語主題	英語主題	日本語後半主題	英語後半主題	日本語副題	英語副題	日本語後半副題	英語後半副
領域5	16aSK205	放射光分光	Synchrotron spectroscopy						
	16aSK209	光電場駆動	Light-field driven phenomena	トポロジカル物質	Topological materials				
	16aPS	領域5ポスターセッション	Poster Session			光物性	Spectroscopy		
	16pSK205	光電子分光	Photoelectron spectroscopy						
	16pSK209	磁気励起	Magnetic excitation						
	17aSK205	光誘起相転移	Photo-Induced Phase Transition						
	17aSK210	テラヘルツ	Terahertz	量子もつれ・非エルミート	Quantum entanglement, Non-Hermitian				
	17pSK205	超イオン伝導体	Superionic conductor						
	17pSK210	革新をもたらす半導体ナノ光デバイス:設計・制御の最前線	Semiconductor Nanophotonic devices Driving Innovation: The Cutting Edge of Design and Control						
	18aSK204	フォノン	Phonon	励起子	Exciton				
	18aSK205	強結合・強相関	Strong coupling and correlation						
	18pSK204	非線形応答	Nonlinear responses	新光源・新手法開発	New light sources and methods				
	18pSK205	低次元	Low dimension	ナノ結晶	Nanocrystal				
	19aSK205	近接場・メタマテリアル・フォトニック結晶	Near Field, Metamaterial, Photonic Crystal						

確認事項 1-2

領域活性化について: 講演数の確認



前回 (北大)	今回 (広大)
全講演数 203件	全講演数 203件
ポスター 74件	ポスター 76件

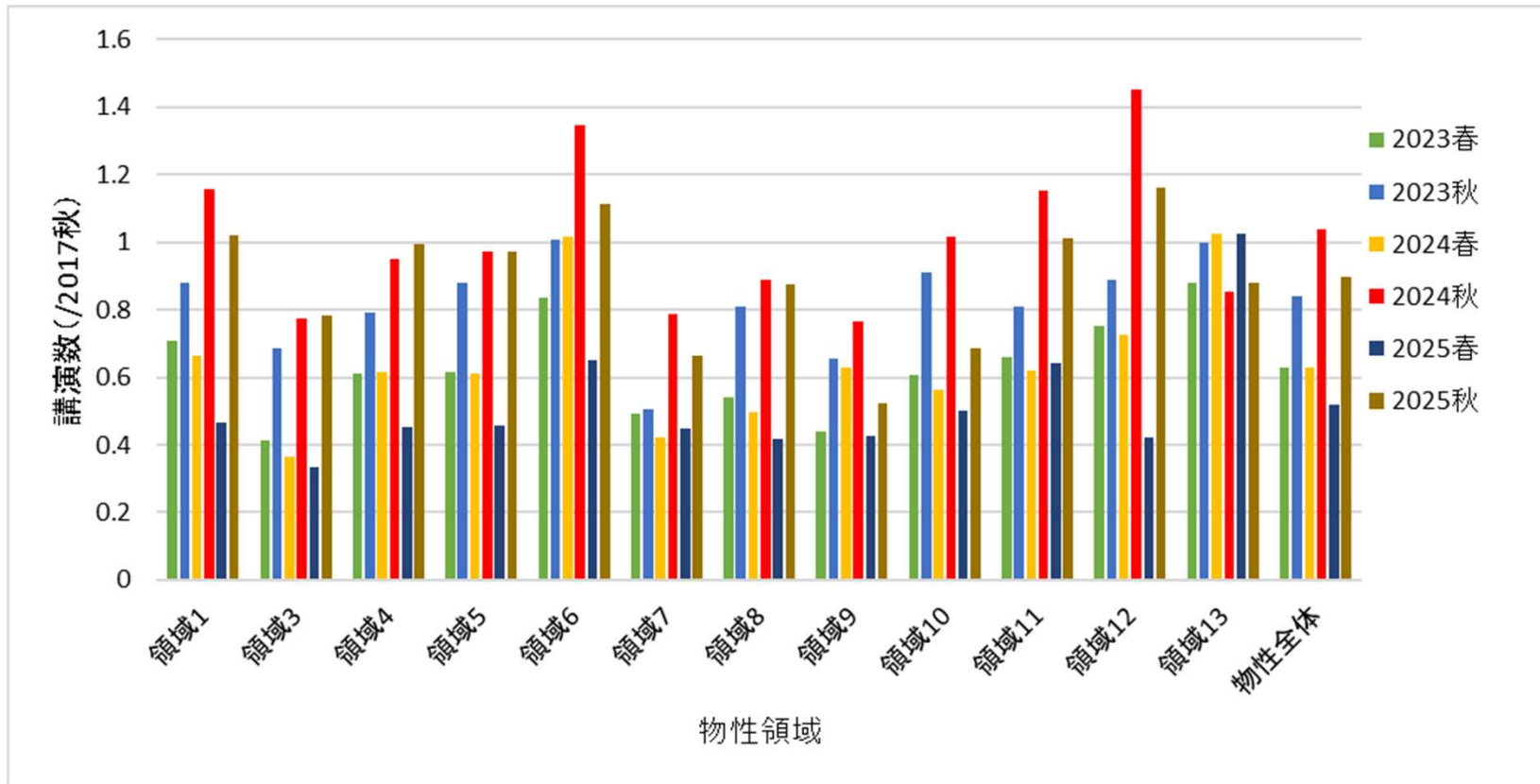
前回 (オンライン)	前々回 (オンライン)
全講演数 90件	全講演数 112件
ポスター 16件	ポスター 27件

- 講演件数: オンサイトはコロナ前と同水準で横ばい。オンラインは減少傾向
- 今大会の学生優秀賞応募数: 37件

確認事項 1-2

領域活性化について: 他領域と比較

他領域との比較 (2017秋季大会で規格化した講演数比)



キーワードについて

領域5(光物性)

第一、第二、第三キーワードから各1つ選択。3つのキーワードを必ず指定すること。セッション分けは全てのキーワードを考慮して行う。

○第1 キーワード(手法)

1. 理論・計算
2. 時間分解測定
3. 定常測定
4. 新光源・新手法開発
5. 光電子分光、逆光電子分光
6. 放射光、真空紫外、X線吸収分光(MCDを含む)

7. X線発光分光、散乱
8. 顕微・近接場分光

○第2 キーワード(物理現象)

11. 非エルミート・非相反
12. 光電場駆動
13. 光誘起相転移
14. 励起子・ポラリトン・発光
15. 強結合・真空場
16. 光渦・軌道角運動量
17. 量子もつれ
18. 生物・生命現象
19. 光機能性・応用物理
20. 多体相互作用・量子凝縮
21. エネルギーバンド
22. 伝導特性・プロトン輸送
23. 電子状態変化
24. 分子拡散
25. スピントロニクス・磁気励起
26. フォノニクス・フォノン励起
27. プラズモニクス
28. 非線形光学・電場増強
29. トポロジック・ベリー位相
30. 不純物・欠陥・局在中心
31. 超高速現象

Division 5 (Optical properties of condensed matter)

Choose one proper key word from each of the first, the second and the third groups. Three key words have to be selected. The program will be organized according to all key words.

*The first group of key words (Methodology in spectroscopy)

1. Theory, Calculations
2. Time-resolved measurements
3. Static measurements
4. New light sources, New methods in spectroscopy
5. Photoemission spectroscopy, Inverse-photoemission spectroscopy
6. Absorption spectroscopy with synchrotron radiation, vacuum ultraviolet light, or X-ray (MCD included)
7. X-ray emission spectroscopy, X-ray scattering
8. Spectromicroscopy(Microspectroscopy), Near-field spectroscopy

*The second group of key words (Physical phenomena)

11. Non-Hermitian systems, Nonreciprocity
12. Optical-electric-field-driven phenomena
13. Photo-induced phase transitions
14. Excitons, Polaritons, Luminescence
15. Strong coupling, Vacuum field
16. Optical vortex, Orbital angular momentum
17. Quantum entanglement
18. Biology, Life phenomena
19. Optical functionalities, Applied physics
20. Manybody interactions, Quantum condensations
21. Energy bands
22. Conduction characteristics, Proton translocations
23. Electronic state changes
24. Molecular diffusions
25. Spintronics, Magnetic excitations
26. Phononics, Phonon excitations
27. Plasmonics
28. Nonlinear optics, Electric field enhancements
29. Topology, Berry phases
30. Impurities, Defects, Localized center
31. Ultrafast phenomena

○第3 キーワード(物質系)

41. 半導体・誘電体・絶縁体
42. 低次元・微粒子・ナノ結晶・表面
43. トポロジカル絶縁体・ワイル半金属
44. 超伝導
45. 強相関・分子性結晶
46. 磁性体・磁性半導体
47. 超イオン導電体・イオン伝導体
48. フォトニック結晶・メタマテリアル
49. 新物質
50. その他

(注)キーワード(13.光誘起相転移)では領域7(分子性固体・有機導体分野)のキーワード(42.光誘起相転移)との合同セッションを設ける。希望者は要旨欄に「領域7合同」と記入すること。キーワード(48.フォトニック結晶・メタマテリアル、8.顕微・近接場分光)は、それぞれ領域1(量子エレクトロニクス分野)のキーワード(201.フォトニックバンド、202.近接場光学)との合同セッションとする。

*The third group of key words (Materials)

41. Semiconductors, Dielectric compounds, Insulators
 42. Low-dimensional materials, Fine particles, Nanocrystals, Surfaces
 43. Topological insulators, Weyl semimetals
 44. Superconductors
 45. Strongly correlated systems, Molecular crystals
 46. Magnetic compounds, Magnetic semiconductors
 47. Superionic conductors, Ionic conductors
 48. Photonic crystals, Metamaterials
 49. New materials
 50. Others
- Memos : Keyword No. 13 (Photo-induced phase transitions) can be assigned to the joint session with the keyword No. 42 (photoinduced phase transitions) of Division 7 (field of molecular solids and organic conductors). For the entry, please indicate "joint session with Division 7" in the abstract. Keywords No. 48 (Photonic crystals, Metamaterials) and No. 8 (Spectromicroscopy(Microspectroscopy), Near-field spectroscopy) will be assigned respectively to the joint session with the keywords No. 201 (photonic band) and No. 202 (near-field optics) of Division 1 (field of quantum electronics). Poster session will be also organized. See D(b) and G(1) for details.

領域5ホームページ <http://www.r5.div.jps.or.jp/index.html> [お知らせ] 領域5では秋季大会と年次大会のポスターセッションで日本物理学会学生優秀発表賞を設けています。詳しくは領域5ホームページをご覧ください。

Division 5 Website: <https://www.r5.div.jps.or.jp/> [Announcements] For information on Student Presentation Award of the Physical Society of Japan, see the Division 5 Website.

追加案

第3キーワード(物質系): 原子層・層状物質

The third group of key words (Materials): atomic layers and layered materials

学生優秀発表賞について

応募資格

大学・大学院もしくは同等の機関に在学中の学生で、
日本物理学会大会・領域5において第一著者としてポスター発表を行う者

表彰件数

評点の高い順に応募者の順位を決めていき、
順位が「**応募件数の20%（四捨五入）**」の学生までを受賞とする
（ボーダー順位の同点者は受賞に含める）。

* 前々回大会までは「当該大会における領域5全ポスター数の5%」と定めていた

審査対象

- 発表内容（研究の意義や位置づけ、研究手法・考察の妥当性等）
- ポスターの構成（ポスターがわかりやすく構成されているか。
目的、方法、結果、考察、結論が明確に示されているか等）
- プレゼンテーション（説明、質疑応答は的確か。異分野の研究者にも伝わるか等）

その他

受賞者は、領域ホームページで発表します。

【提案】学生優秀発表賞の審査員選定方針について

領域代表 渡邊紳一

問題: 最近、現地開催の場合の「学生優秀発表賞」の申請件数が多くなっている。喜ばしい一方、実務上、多数の審査員確保が問題で、運営委員の負担となっている。緩和条件を明記するなどして負担軽減を図りたい。

提案:

(1) 審査員対象外とする条件(※)を一部緩和し、審査に参加できる研究者数を増やすのはどうか？

○「○○は除く」を、「○○はできるだけ避ける」に変更し、柔軟に対応できるようにする。

○学生に賞を授与する立場にある領域代表および副代表は、公平性の観点から審査員対象から除外する。

※現状の審査員対象外とする方針

(0) 領域代表・副代表・運営委員は除く

(1) 座長に選ばれている方は除く

(2) 学生優秀発表賞応募ポスター講演の共著者は除く

(3) 前回の審査員は除く

(4) 分野をばらけさせるため、プログラム編成で担当したセッションから選ぶ



改正案(領域正副代表・運営委員は理由も明記)

(0) 学生に賞を授与する立場にある領域代表および副代表は除く。

(1) 運営委員は会期中の負担減の観点から可能な限り避ける。

(2) 座長に選ばれている方は負担減の観点からできるだけ避ける。

(3) 前回の審査員は負担の公平性の観点からできるだけ避ける。

(4) 学生優秀発表賞応募ポスター講演の共著者はできるだけ避ける。

(5) 分野をばらけさせるため、プログラム編成で担当したセッションから優先的に選ぶ。

(2) 発表1件に対する審査員の数(現状5名)を減らす。下限(例えば3名)を決めて、対象発表の件数に応じて、柔軟に審査員数を設定できるようにするのはどうか？

例: 日本化学会の学生講演賞の審査委員は3名→

(体感として審査員数は3名が普通で、5名はかなり充実している印象がある)



80周年記念国際シンポジウム開催(2026年9月)のお知らせ

大会担当理事(領域代表代読)

来年、日本物理学会設立80周年を迎えることを記念して国際シンポジウムを開催します。

- 本シンポジウム
 - 日程、場所: 2026年9月13日(日)、東京大学駒場キャンパス
 - 国際的に活躍する研究者10名ほどの招待講演を中心に構成されます。
 - 人選、参加登録などの詳細は現在、実行委員会で検討中です。
- 第81回年次大会(9月14日～17日、東大駒場)でも本シンポジウムと関連したサテライトシンポジウム(国際シンポジウム、4本程度)を企画します。
 - 形式は大会のシンポジウムと同じですが、国外からの講演者の旅費等を学会が一部負担します。
 - 本シンポジウムの講演者が固まった後、実行委員会でテーマを設定し、関連する研究者に企画していただくようお願いいたします(2025年12月頃)。ご協力よろしく願いいたします。
 - 領域から提案されるシンポジウムとのコンフリクトを避けるため、2026年3月までにはサテライトシンポジウムのプログラム案を決定、周知する予定です。最終的には6月の領域委員会で要承認。

領域のあり方と現状の課題についての意見を伺います

大会担当理事(領域代表代読)

大会で領域制が導入されてからおよそ四半世紀が経ちます。当初は5年をめぐりに領域の構成を再検討することとなっていました。実行されずに今日に至っています。こうした状況のもと、物性分野の一部の領域から運営に支障をきたしているという相談が理事会に来ています。そこで、今後の検討材料にすべく、物性領域(領域1から領域12まで)で活動する会員に以下をお伺いします。

(1)当領域の運営に支障があるかどうかなど、現状の課題

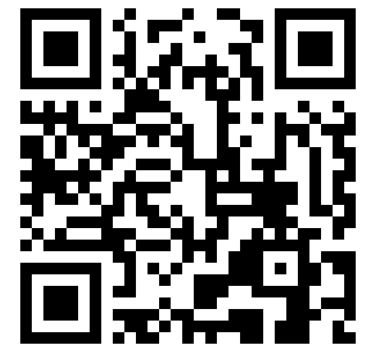
(2)領域のあるべき姿についての意見

- 当領域に関するもの、物性の領域全体にわたるものなど、どのレベルでも結構です

(3)その他、領域制に関する意見

領域5では下記のGoogle Formでご意見を受け付けます(締め切り:9月19日)

<https://forms.gle/EqwaKqv1VYiEMofS7>



IMでは、(1)の意見(「当領域の運営に支障があるかどうかなど、現状の課題」)を簡単に
取りまとめます。

領域代表: 渡邊

【例】

- ・ホームページの運営が領域任せになっており、英語化対応なども加わって負担が大きい。
- ・プログラム編成の対応期間が短すぎて負担が重い。せめて〇週間は確保できないか？
- ・次期運営委員を探すのが大変。

年次大会 概要集提出率について

物理学会事務局より(領域代表代読)

第80回年次大会(2025年)講演概要集提出率

領域	講演者数	論文提出数	論文提出率
素粒子論領域	205	103	50.2%
素粒子実験領域	229	174	75.9%
理論核物理領域	137	114	83.2%
実験核物理領域	170	152	89.4%
宇宙線・宇宙物理領域	304	225	74.0%
ビーム物理領域	73	62	84.9%
計算物理領域	129	105	81.3%
領域1	212	201	94.8%
領域2	105	101	96.1%
領域3	241	238	98.7%
領域4	162	151	93.2%
領域5	213	207	97.1%
領域6	129	126	97.6%
領域7	119	114	95.7%
領域8	466	447	95.9%
領域9	95	90	94.7%
領域10	88	84	95.4%
領域11	439	406	92.4%
領域12	177	169	95.4%
領域13	75	70	93.3%
物理と社会	7	5	71.4%
領域横断(理事会)	12	10	83.3%
合計	3787	3354	88.5%

領域5の講演概要集提出率は

97.1%

と極めて高い。

現状維持で問題ない。

2026年春期大会 スケジュールについて

領域代表: 渡邊

シンポジウム提案締め切りは

11/20 (木)

です。

積極的な提案をお願いします。

※「領域コミュニティーの固定化」を懸念する声も多くあります。できるだけ、既存の領域5の分野にとらわれない、新しい潮流を切り開くきっかけにしていきましょう。

#	予定	日程	備考
01	企画提案（シンポジウム等） 公募・提案方法の案内	2025/10	会誌10月号掲載
02	一般講演 募集要項	2025/11	会誌11月号掲載
03	シンポジウム、招待・企画講演等 企画提案（web受付）	2025/10/28(火) -2025/11/20(木)	※領域委員修正は2025/11/25まで。
04	一般講演 登壇申込期間	2025/12/16(火) -2026/01/08(木)	最終日は14時締切（厳守）
05	インフォーマルミーティング 申請期間	2025/12/16(火) -2026/01/20(火)	
06	領域委員会 素核宇ビーム・物性プログラム小委員会	2025/12	※Zoom開催（12月中旬予定） ※領域代表に出席していただきます。
07	プログラム編集説明会	2026/01	※Zoom開催（1月中旬予定） ※領域運営委員に出席していただきます。
08	WEB版プログラム（暫定版）公開	2026/02/06(金)	※日程は前後する可能性があります。
09	座長依頼の連絡	2026/02/09(月)	※日程は前後する可能性があります。
10	講演概要集原稿（PDF）締切	-2026/02/13(金)	最終日は14時締切（厳守）
11	PDF版プログラム初校校正	2026/02/19～02/24	※領域運営委員に校正いただきます。
12	PDF版プログラム 公開	2026/03/05(木)	（会員マイページ内） ※冊子版は廃止となりました。
13	座長説明会	2026/03	※Zoom開催（3月上旬予定） ※座長・領域委員に個別にURLを連絡します。